

令和7年度第二回古賀市公共施設マネジメント推進審議会 議事要旨

【開催概要】

開催日時：令和7年10月3日(金) 19:00～20:30

開催場所：古賀市役所第2庁舎 4階 402会議室

出席者：

(委員)

水田委員、松尾委員、辻委員、森部委員、吉永委員、檜山委員、弓削委員、江藤委員

(事務局)

管財課長、管財係長、管財係員、福祉課福祉政策係長、生涯学習推進課長、スポーツ振興係長

※福祉課及び生涯学習推進課は説明後途中退席。

【議事・要旨】

1. 開会	傍聴人の入場、会長挨拶
2. 前回までの議論について	(事務局より説明) (委員からの意見等なし)
3. 個別施設についての説明	(千鳥苑について福祉課から説明) 委員からの意見： ●委員発言 ○事務局回答 ●千鳥苑の機能について、例えば学校の空き教室など、市内各所に分散して移転するのか。 ●千鳥苑を廃止し、作り直すのは今の場所か。 ○未定である。建物は廃止、機能は見直しも含め検討している。 (市民体育館について生涯学習推進課から説明) ●体育館の移転先は決まっているのか。 ○千鳥ヶ池公園の多目的グラウンドである。 ●床面積は同じ規模か。 ○移転先の土地の広さの制約があるが、アンケート結果等を踏まえて良いものを作りたいと考えている。 ●移転計画と一緒にバスの運行計画など、公共交通も一緒に検討しているのか。 ○移転先にはバス停もあり、決して交通の便が悪い場所ではないという認識であるため、今のところそういった検討はしていない。 ●体育館の移設について、市内各地区へのアクセス道路の整備が関係していると理解している。道路整備を考えれば体育館を壊す必要がなかったのではないか。 ○公共施設等総合管理計画のアクションプラン作成時に道路整備の話はなかった。道路を作るから体育館を廃止するというわけではない。 ●千鳥ヶ池公園は広域避難所になっていると記憶している。体育館はどういう扱いになるのか。 ○新設体育館には避難所機能を持たせようと検討をしている。

<p>4. 意見交換 (計画及びアクションプランについて)</p>	<p>●面積の二割削減の根拠は？</p> <p>●総務省が示している数値では。</p> <p>○次回の会議で示す。</p> <p>●個別施設の管理に関しては、管財課ではなく施設を所管する担当課になっているように見えるが、どうなのか。</p> <p>○施設管理は所管する担当課であるが、公共施設の在り方全体については管財課が所管している。</p> <p>●国管理施設との連携とあるが、古賀の国管理施設はどこにあるのか。</p> <p>○具体的には福岡女学院看護大学の前にある公務員住宅が大きなものである。</p> <p>●新規整備の検討条件が列記されているが、現時点で具体的な想定や予定はあるのか。</p> <p>○現時点では、具体的な施設整備計画はない。</p> <p>●総務省の試算ソフトについて。国交省や他の省庁でも工事費の単価があるが、各省庁での整合性は取れているのか、建築資材等物価高騰、人件費の高騰により、工事費が高くなるのではないか。</p> <p>●各省庁の単価は確かに違うが、そんなに大きな差はない。また実工事費等の議論については当審議会の議題の対象外。</p> <p>●試算ソフトの単価の参照年度について記載すべきではないか。</p> <p>●長寿命化の 75 年の根拠と、75 年使い続けていくという市のスタンスをもっと明確に明示したほうが良いのではないか。</p> <p>●面積の 2 割削減と 75 年という前提を策定の背景と目的の部分に入れてほしい。なぜ 2 割なのか、なぜ 75 年なのか、理由をしっかりと書いてほしい。</p> <p>●そもそも計画本体にうたっていて、その計画を受けてのアクションプランである。</p> <p>○計画に記載する方向で検討する。</p> <p>●全ての施設について、75 年の使用は決定事項であるのか。</p> <p>○そうではない。個別施設毎に、補修をしつつ計画に記載の「改修周期の考え方」に沿って判断していくものである。</p>
<p>5. その他</p>	<p>本会議の議事録の確認については、会長に一任することで合意。</p> <p>審議会終了</p>